

Session IV ISU/JSF SS特別規則



## 1) スピードスケート競技会 (R100,107)

- **IOC管轄**
  - オリンピック冬季大会
  - ユースオリンピック冬季大会
- **ISU選手権大会**
  - 世界選手権大会
  - 世界ジュニア選手権大会
  - ヨーロッパ選手権大会
  - 4大陸選手権大会



- **ISUイベント（選手権大会以外のもの）**

- ワールドカップ（ジュニア・シニア）

- **その他国際大会**

- 国際シニア競技会
- 国際ジュニア競技会
- 国際ノービス競技会
- 国際マスターズ競技会
- オープン国際競技会

- **国内大会**

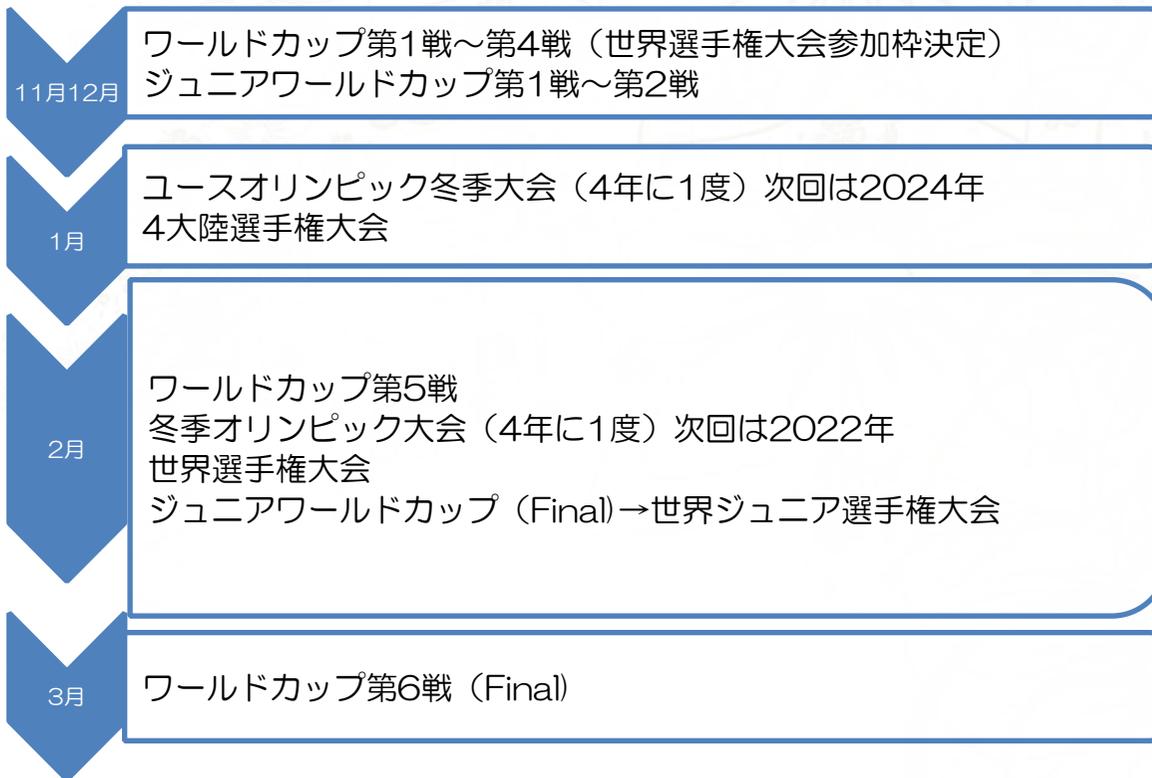
- 日本スケート連盟主催の大会

※全日本距離別、オールラウンド、スプリント、ジュニアはISUに申請している大会

- **各加盟団体主催の大会**

## 2) ISUイベントカレンダー（規則第208条4項）

◆年間スケジュール（ISU総会で今後変更の可能性あり。）



### • 2020/2021シーズン

- WC#1 トマショフマゾウィツキ
- WC#2 スタヴァンゲル
- WC#3 ソルトレイクシティ
- WC#4 カルガリー
- WC#5 長春
- WC#6 ヘレンベーン
- JWC#1 ミンスク
- JWC Final 八戸
- WC 北京（プレ五輪）
- WJR 八戸
- 4大陸 カルガリー

### 3) ISUのトラック (R205)

ISU選手権大会とISUワールドカップ競技会は、  
400m標準スピードスケートトラックで行う。  
(ウォームアップレーン：最小4m)

### 4) オリンピック冬季競技大会のトラックと会場 (R206)

オリンピック冬季競技大会スピードスケート競技は、400m  
標準スピードスケートトラックで行う。  
(ウォームアップレーン：最小4m)  
室内暖房付き、地下通路、観客席を有す。

# 5) 標準トラック (R203)

1. 長さ：
  - 最大400m、最小333 1/3mのダブルレーン  
各180度の2つのカーブもつ
  - 屋外／屋内／室内のアイスリンク
  - 内側カーブ半径： 25m以上26m以内
  
2. 交差エリア：  
カーブの終わり～ストレート全体の長さ
  
3. 内側競技レーンの幅： 4m  
外側競技レーンの幅：最低4m

$$1 = 2 \times \text{mean axis} = 2 \times A \quad 3 = \text{Outer Curve} = C \times \pi$$

$$2 = \text{Inner Curve} = B \times \pi \quad 4 = \text{Crossing} =$$

$$\sqrt{A^2 + (\text{width of track})^2} - A$$

## 400 m Tracks

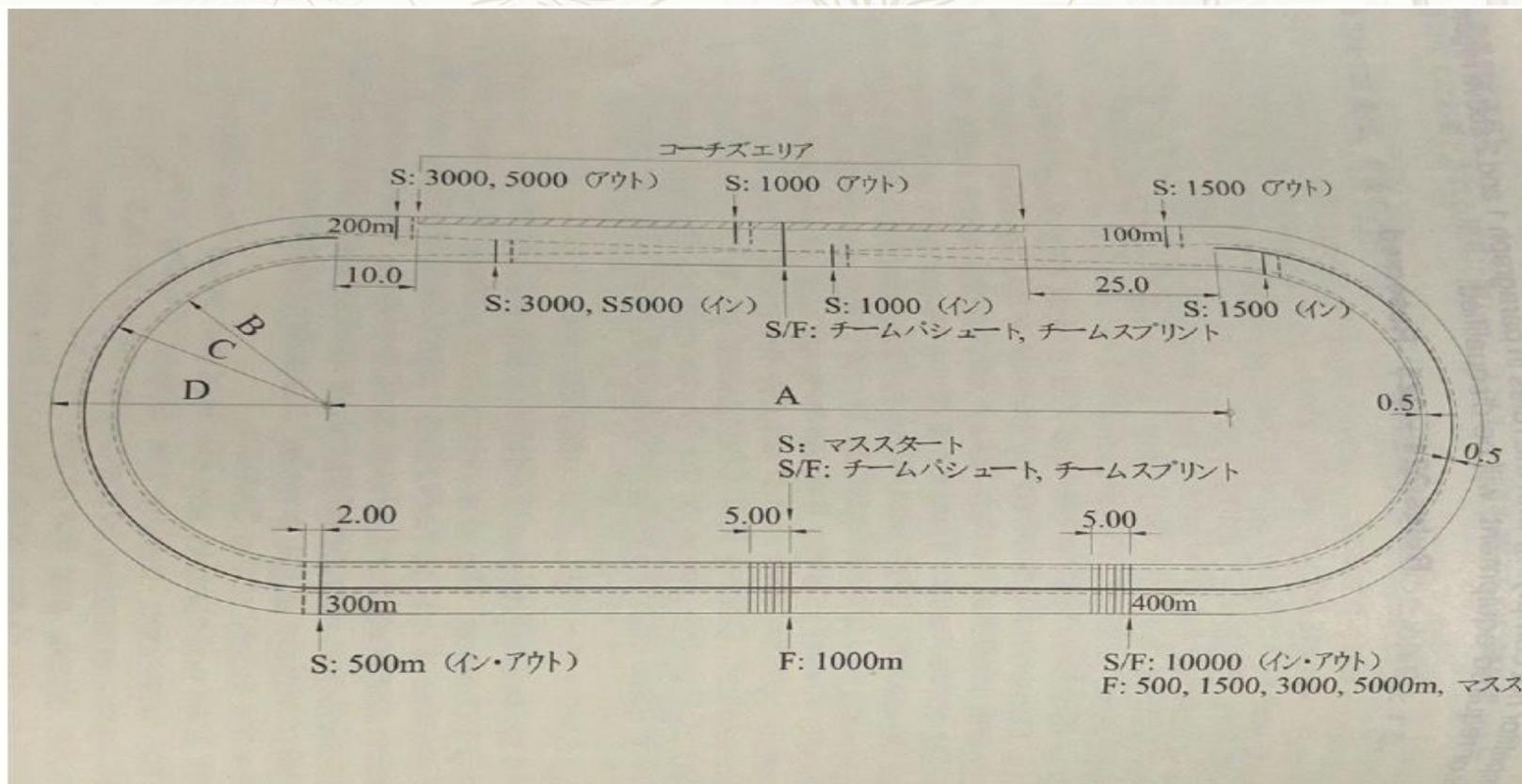
Radius inner curve	25 m	Radius inner curve	25.5 m
Width of each track	4 m	Width of each track	4 m
1 = 2 x 113.57	= 227.14 m	1 = 2 x 112.00	= 224.00 m
2 = 25.5 x 3.1416	= 80.11 m	2 = 26 x 3.1416	= 81.68 m
3 = 29.5 x 3.1416	= 92.68 m	3 = 30 x 3.1416	= 94.25 m
4 =	= 0.07 m	4 = $\sqrt{112^2 + 4^2} - 112$	= 0.07 m
$\sqrt{113.57^2 + 4^2} - 113.57$			
	400.0 m		400.0 m

Radius inner curve	26 m
Width of each track	4 m
1 = 2 x 110.43	= 220.86 m
2 = 26.5 x 3.1416	= 83.25 m
3 = 30.5 x 3.1416	= 95.82 m
4 =	= 0.07 m
$\sqrt{110.43^2 + 4^2} - 110.43$	
	400.0 m

## 333 1/3 m Tracks

Radius inner curve	26 m	Radius inner curve	25 m
Width of each track	4 m	Width of each track	4 m
1 = 2 x 77.08	= 154.16 m	1 = 2 x 80.22	= 160.44 m
2 = 26.5 x 3.1416	= 83.25 m	2 = 25.5 x 3.1416	= 80.11 m
3 = 30.5 x 3.1416	= 95.82 m	3 = 29.5 x 3.1416	= 92.68 m
4 = $\sqrt{77.08^2 + 4^2} - 77.08$	= 0.10 m	4 = $\sqrt{80.22^2 + 4^2} - 80.22$	= 0.10 m
	333.33 m		333.33 m

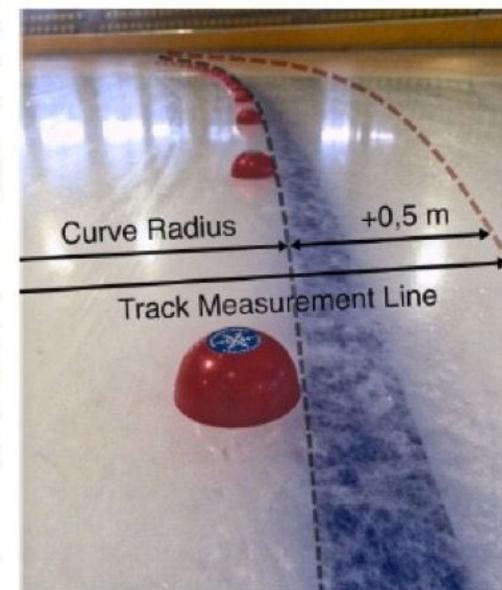
# 標準トラック



CamScannerでスキャン

## 6) 競技トラックの境界表示 (R226)

- 競技レーンの境界表示に関して、ストレートとカーブの両方に完全に着色されたライン、5cm幅、が用いられる。
- 通常、及び屋内トラックにおいては常に、カーブにおけるレーンの境界表示は、カーブの最初の15mを50cm間隔で、カーブの残りの部分は2m間隔で、ゴム製又は合成材質の（最大高さ5cmの）可動性のブロックを含まなければならない。
- ブロックは着色されたラインの内側に接する。



- 各カーブの入口には、閉鎖状のコーン（高さ20-25cm）が最初のブロックとして使用される。
  - 境界表示に視界のために必要と考えられる時には、ブロックが各ブロック間10mの距離で、ストレートに着色された境界表示ライン上に設置されてもよい。
  - 屋外トラックでは、可動性のブロックの代わりに雪が用いられてもよいが、雪は凍っていないはならない。
- レフェリーは境界表示が規則に適合しているかどうかを決定する。

## 7) コーチのエリア (R227-3)

- トラック外側の縁から1 mに、2cm幅のライン  
カーブ出口25m ~ 交差エリアの次カーブ入口 10m手  
前まで
- コーチのため、トラック交差側に特別表示の区域を設定
- チームパシュート用：スタートする反対のストレート上  
\* コーチ数、カーブ出口、アップレーンに注意

## コーチエリアに許されるコーチ数の制限

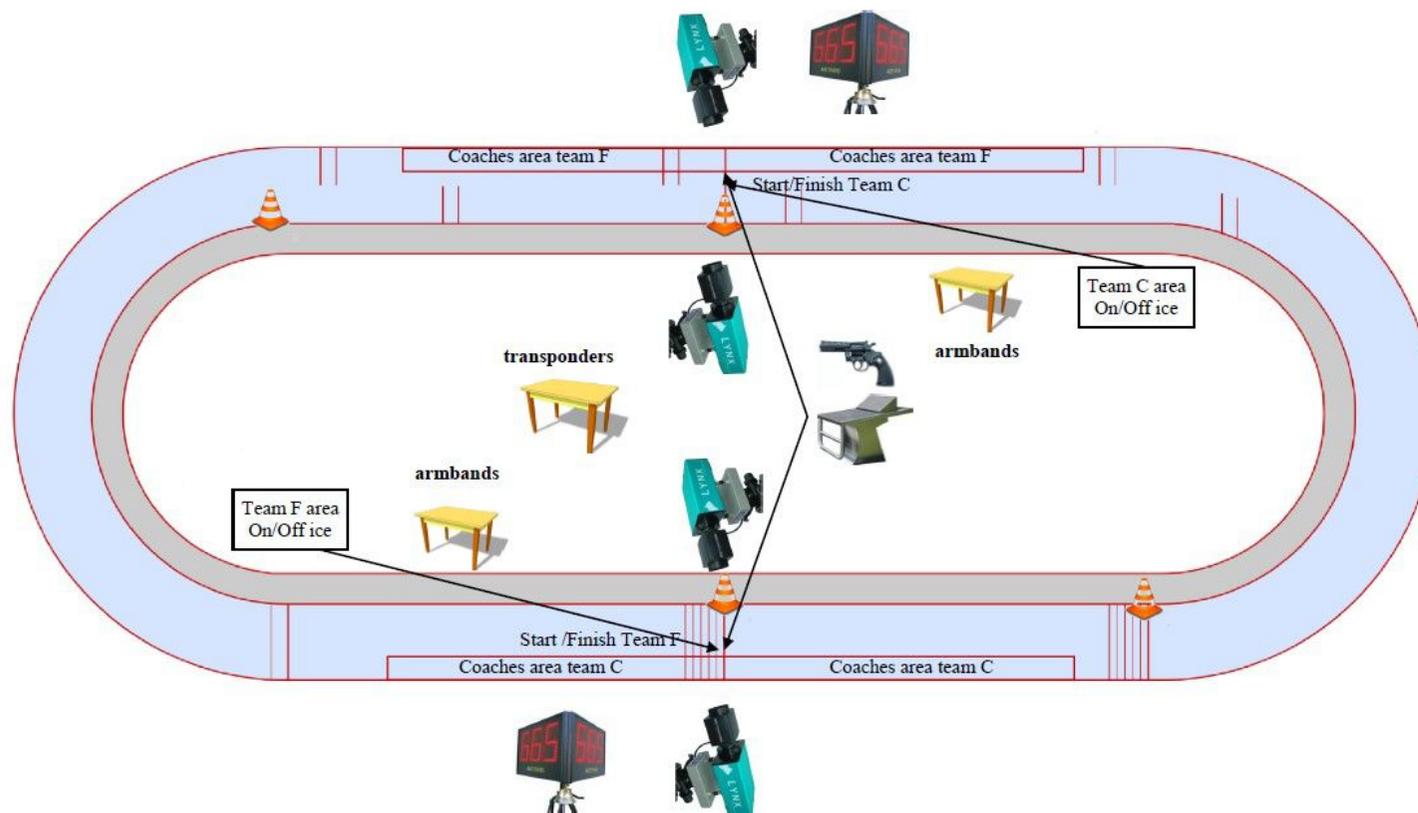
- a) 1000m以下の距離及びカルテットスタートによるレース：各競技者に最大1名。  
カルテットスタート以外の長距離及びチームパシュートレース：各競技者/  
チームに最大2名。

マススタートとチームスプリントレースは許されない。

- b) フォトフィニッシュとTVカメラに関して、  
フィニッシュラインの明白な視界を確保するため、コーチは チームパシュート  
レース中フィニッシュラインエリアを通過することは許されない。
- c) **競技中（レースが行われている間）** コーチはウォームアップレーンで、スケーターに同行することは許されない。

# Team Pursuit/Team Sprint Setup Plan

(コーチエリアはTPのみ、TSでは内側、氷上禁止)



## 8) チームリーダーズミーティング (TLM) と抽選手順

競技役員編成 (公認審判員審査委員会による)

### □国内選手権大会

- I SU / Int. レフェリー・スターター
- ナショナルレフェリー・スターター

### □ジャパンカップ、JSF主催競技会

- ナショナルレフェリー・スターター
- S級審判

\* 審判編成規程による (日本スケート連盟スピードスケート競技特別規則47条、119条による)

\* 主管連盟からの推薦による

## I) アナウンスメントと抽選に関する公開会議 (R239-1)

当該競技会の開始前、組織委員会は最初のドロウの会議を開催する責任がある。

競技者のエントリー、競技スケジュール、主要な競技役員の名前及びスタート順の抽選及び競技日初日のスタートリストの構成が、この会議において告知されるものとする。

# TLMの流れ

歓迎あいさつ

全チームの出席確認

主要役員の紹介 (Referees, starters)

ドーピングコントロール

ルールと安全 (シーズンの新規則等)

アイスコミッションの構成

トラック測定、計時計測の証明

(天気予報) / 競技スケジュール / 整氷

公式練習とウォームアップ

棄権確認/グルーピング

ドロー、次回ミーティング、提出物の確認

実行委員会からの連絡

感謝と激励

## Ⅱ) I SU選手権大会と他のI SUイベントの抽選 (R239-2)

2.1.a) I SUイベントにおいて、レフェリー(s)は最初の抽選の前に開催されるチームリーダーミーティングを召集する。競技会に参加者を申し込んでいる各メンバーは、チームリーダーミーティングへの出席が求められ、指名したチーム役員1名だけを参加させることができる。

b) 最初の抽選前のチームリーダーミーティングにおいて、レフェリーにはいかなる棄権又は補欠のエントリーもチームリーダーにより通知され、競技会へのエントリーが最終的に確認される。その後、レフェリーは抽選のため又はスタートリストの構成のために競技者のグルーピングを提示してもよい。

c) I SUイベントにおいて、最初の抽選は競技会初日の前日に開催される。

d) 翌日の競技日のために組織委員会により通知された手順と期限にしたがって、いかなる棄権、補欠のエントリー又はチーム競技の競技者の選考をレフェリーに通知することはチームリーダーの義務である。

# 棄権届

(公財)日本スケート連盟

## 棄権届出書

※太枠内に記入のうえ、レフェリーへ提出すること。

提出年月日	令和 年 月 日
選手名	No. _____ <input type="checkbox"/> 女子 <input type="checkbox"/> 男子
所属	
監督(コーチ)	
競技会名	
距離 (競技会不参加の場合は記入不要)	m
棄権理由	※傷病の場合は、医師の診断書を添付すること。
提出者	

受理年月日	令和 年 月 日 時 分
レフェリー	記録員長



Clean Sport

## ISU WITHDRAWAL NOTIFICATION FORM

This form is to be used for **any withdrawal** from competition and must be signed by the Skater.

The type of withdrawal reason, **NON-MEDICAL** or **MEDICAL**, must be completed below.

If the withdrawal is for **NON-MEDICAL** reasons:

- This Form must be signed by the Team Leader (if present) and presented to the ISU Event Referee / ISU Event Coordinator.

If the withdrawal is for **MEDICAL** reasons:

- This Form must be signed by the Team Physician (if present) or Chief Medical Officer (CMO) and the ISU Medical Advisor (if present), and presented to the ISU Event Referee / ISU Event Coordinator

- **and** in order to be compliant with the ISU Rule 140 para 5c. of the ISU Constitution and General Regulations 2018, the ISU Medical Form (AD&MIP #30) **must** be completed on-line. (<https://www.isu.org/medical/isu-medical-form>)

Please tick the correct box

NON-MEDICAL REASON\*  MEDICAL REASON\*

ISU Event: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Place / City / Country: \_\_\_\_\_

Skater Name: \_\_\_\_\_ Sport Nationality: \_\_\_\_\_

Estimated date of return to competition  
(Do not insert Medical Information here): \_\_\_\_\_

\*NON-MEDICAL Reason, detailed information of the reason of the withdrawal:  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

\*MEDICAL reason, ISU Medical Form completed:  YES or  NO

Skater signature: \_\_\_\_\_

NON-MEDICAL WITHDRAWAL		MEDICAL WITHDRAWAL	
Name	Signature	Name	Signature
Team Leader		Chief Medical Officer	
		Team Physician	
		Medical Advisor	

This document must be sent by the ISU Event Referee / ISU Event Coordinator to the ISU Office at [medical@isu.ch](mailto:medical@isu.ch)

## Ⅱ) I SU選手権大会と他のI SUイベントの抽選 (R239-2)

### 2.2

- a) 各競技者は、プログラムに/リザルトのリストに/抽選で使用するために、組織委員会に交付された **スターティング・ナンバー**を割り当てられる。
- b) レフェリーは組の抽選を実施する。抽選会の出席者による手動抽選手順/**無作為抽選を行う「コンピュータードロー」の使用も可**
- c) 2日目以降の組み合わせはTC監修の元、レフリーとスポーツエキスパートによって実施される。(TLMは行わない。)

## Ⅱ) ISU選手権大会と他のISUイベントの抽選 (R239-2)

### 2.3 どちらの競技者がインレーン/アウトレーンの組の編成：

a) 抽選による時；

その組で最初に抽選された競技者がその組のインレーンでスタート。

b) 先に行われた距離のランキングによる時；

より上位にランクされる競技者が、その組のインレーンでスタート。

- 同一国のスケーター回避措置； 規則第241条3項 b)を参照、

- スプリント競技、2 x 500mの2回目； 規則第242条2項を参照。

c) 抽選後、棄権し、組を再編成する場合；  
規則第245条1項と2項を適用する。

## Ⅲ) 国際競技会の抽選 (R244)

1. 国際競技会で、OCはスタート順の抽選に使用される番号を各競技者に与える。

## IV) 世界選手権大会距離別部門 (R240-5)

- a) ランキングリストによる組の抽選：  
SQRL : Wcupランキング → 参加資格タイム  
ランキング
- b) 上位から6名ずつのグループに配分  
⇒ 組合せとスタート順を抽選  
スタート順はランキングと逆順
- c) チーム競技においてはSQRLランキングリストをベース  
に参加チームの上位4チームを抽選し、後半2組に。それ  
以外のチームも抽選し前半2組になる。
- d) MSはSQRLランキング順に1列目から6人ずつ並び。

## V) 世界選手権大会AR部門 (R240-1~2)

1. 最初の2距離 500mと3000/5000mの抽選：
  - 参加資格ベストタイムにより、8名ずつの3グループに
  - 同タイムは抽選による
  - グループ内での抽選：
  - 下位グループから抽選、スタート順
  
2. 第3距離1500mの組合せ：
  - 組の編成 2距離後の合計得点ランキングに基づく、
  - 合計得点同点の場合500mのよい方が上位、
  - 上位者インレーンスタート、
  - 組のスタート順はランキングの逆順

## V) 世界選手権大会AR部門 (R240-3)

### 3. 第4距離への出場資格

a) 第4距離は、3距離後の上位16位にランクされたスケーターで行われ、8名のスケーターのみがスタート：

2つのランキングリストに基づく：

- 3距離内の最長距離の最終順位 (女子3000mと男子5000m)
- 3距離後の合計得点順位

リスト両方で上位8位にいる競技者、  
両方のリストを見比べて、リスト一方でのみ上位8位にいる競技者は、  
いずれかで最もよいポジションをもつ競技者、  
2つのリストで同一ポジションを有する場合、  
3距離後の合計得点順位にいる競技者、

## V) 世界選手権大会AR部門 (R240-3)

### 3. 第4距離への出場資格

リスト一方で同一ポジションを分け合う場合、  
他のリストでより上位に位置する競技者、

b) 同数の競技者を**2つのグループに配分**。

**3距離後に最良のランク**を有する競技者は**グループ1**、残りの競技者は  
グループ2に配分。

合計得点タイの場合 → 上位者は滑走した3距離の**最長距離**でよりよ  
いタイムをもつ競技者

**3距離の最長距離のランクにより、各グループ内でペアになる。**  
最長距離のタイムが良い方がインナーレーンとなる。

## V) 世界選手権大会AR部門 (R240-3)

### 3. 第4距離への出場資格

- c) **組のスタート順**は、各グループ内で、3距離後の合計得点ランキングに基づく：
- **最上位にランク**される競技者は**最終組**で。
  - **2位にランク**される競技者が最上位の競技者と組合せない場合、最終組から**2番目の組**で、  
グループ2の組はすべてグループ1の組の前で、スタート等。
- d) 第4距離にスタートする権利をもつ競技者が 抽選後に棄権の場合、**a)の基準により、次のランクの競技者に置き換え。**  
相当するランキングリストのトップ8後の位置でも次に参加資格を有するスケーターを決定するために考慮される。

## VI) 世界選手権大会SP部門 (R240-4)

1. **初日の2距離**に関して、  
当該距離の到達した**ベスト参加資格タイム**に基づいて、グループに配分される。

グループの構成と組の抽選に関しては、**規程第240条1項と2項**を適用する。

\***オールラウンド選手権の1, 2距離抽選と同じ**

## VI) 世界選手権大会SP部門 (R240-4)

2. 第3距離と第4距離に関して、
  - 組の編成は2距離後又は3距離後の合計得点のランキングに基づく。
  - 合計得点同点の場合、当該距離の最初のレースでタイムの良い方の競技者が上位にランク。
  - 各距離の組編成は、すべての参加者が第2日目にはそのスターティング・レーンを変える方法で；
  - 組のスタート順は、競技者のランキング順とは逆になる：
    - 総合得点で最初にランクされた競技者は、次ランクの競技者と一緒に、最終組で滑走する。

## Ⅶ) 全距離への参加 (R266)

1. 選手権大会／制限された数の競技者だけが最終距離で競技する競技会：

当該競技会の先立つ全距離で競技した競技者だけが最終距離にスタートする資格を得る。

(規則第 275条 3項も参照)

2. 滑走した全距離からの合計得点／レースからの合計タイムに基づいて結果を出す I SU選手権大会：

有効な結果をもってすべての先立つ距離／レースを完了していない競技者は、選手権大会最終距離 (レース) にスタートすることは許されない。

## 9) 抽選後のスタートからの棄権、補欠のエンリー (R245)

### 1. 補欠なしで棄権者が出た場合

- a) 棄権者が出たレーンの選手が全員繰り下がる。
- b) 再編成後に複数の独走が出た場合は、早い組の選手が後ろの組の空いているレーンに入る。

### 2. 補欠がいる場合

- a) 補欠がエントリーの資格を満たしている場合は置き換えられる。ただし、競技会が総合選手権大会形式の場合は第1距離が始まる前にのみ申し込める。
- b) 254-1適用後に空いているレーンに入る。

## 9) 抽選後のスタートからの棄権、補欠のエントリー (R245)

3. 他組に移動する競技者は、最初に抽選された組の予定スタート時間の少なくとも30分前に通知される。
4. 総合選手権大会形式を抽選後に棄権した場合は該当レース、その後のレースにはエントリーできない。

### \* 国内競技会対応:

- 当該距離の開始1時間前まで ⇒ 1, 2項により再編成
- それ以降は独走もあり得る??

### \* Wcupでは2時間前、できるだけ遅く再編成を発表。

## 10) スタートの調整 (R246)

- 2つ以上の距離に1つの賞が授与される競技会において、競技者は、レース間に少なくとも30分の休憩時間をもつ権利を有する。
- 必要ならば、レフェリーは求められる休憩時間が利用できるような方法で、組のスタート順を調整してもよい。

## 11) 再レースの容認 (R262)

1. 自身の失敗でなく妨害された競技者はレフェリーにより再レースが許される。  
→当初のレースを終了している場合は2回のレースの**良い方のタイム**を採用。
2. トラック上の障害物のためレース完了が不可能な競技者は再スタートが許される**(飛んだブロック)**。
  - 障害物として、破損したスケート/氷の悪条件は認めない。
  - レーストラック付近の者/出来事により妨害されたという意見も、認められない。

## 11) 再レースの容認 (R262)

3. 障害物： 転倒した競技者、交差ストレートでのレーンの不正交差、レーンの離脱のような規則違反した、その組の他の競技者の違反による場合、レフェリーは再レースさせる権利を拒否できない。

⇒ レフェリーは当該競技者に通知する。

4. 【必要な休憩時間】

競技者が30分以内でスタートすることに同意している場合を除いて、最初のレースと再レースとの間に **少なくとも30分の休憩**をもつ権利

# 11) 再レースの容認 (R262)

## 5. 【再レースのスタートレーン】

最初のレースと同一レーンでスタート

(合計得点 / 2回レースの合計タイムによるスプリント  
競技の500m / 1000mの2回目)

2名以上が再レースを許された場合

⇒ 独走を避けるため組編成

➤ 異なるレーンでスタートした場合 ⇒ 同一レーンで

➤ 同一レーンでスタートした場合

⇒ 組番号の低い組からの競技者がアウトレーンで  
(規則第239条2項と第245条参照)

## 12) 失格 (R275)

2. レフェリーの意見でその違反が故意である場合、その競技者は告知されている**競技会の以降の競技には参加できないかもしれない。**

更に、数距離に一つの賞授与される競技会の場合、その競技者は**すでに滑走した距離についても失格とされるかもしれない。**

3. 選手権大会又は制限された数の競技者だけが最終距離にスタートすることを許されている他の競技会において、**あるレースで失格となった競技者は、最終距離にスタートする権利を失う（規則第240条も参照）。**

## 13) スタートへの呼び出し (R254)

1. 各スタートに先立ち、競技予定者の氏名を、スタート地点及び更衣室で、はっきりと呼び挙げる。

(アナウンサーとアシスタントスターターで)

2. スタート地点に速やかに現れることができない。

= その距離から**棄権**すること “DNS”

## 14) スタート手順 (R255-2)

2.1. インレーンとアウトレーンでスタートする競技者は、それぞれ白と赤の腕章により個別化。

競技者自身に腕章を着用し、正しいスタートレーンにつく責任がある。

■この規則の違反は**失格**をもたらす。

**\* 第223-3条と第279-5条参照**

# 14) スタート手順 (R255-2)

## 2.2.

a) 「Go to the start」

⇒ プレ-スタートラインとスタートラインの間に位置

「Ready」 ⇒安定した姿勢 →スタート姿勢

- 発砲されるまでスケート完全にスタートライン手前に保つ、スタートラインの上/越えて立つことはできない。

- 身体/用具のいかなる部分もスタートラインに触れたり、スタートラインを越えた氷に接触することはできない。

b) スタート姿勢とり終わる瞬間と発砲との間

明らかな間隔は1秒と1.5秒の間

## 15) 不正スタート (R255-3)

3.1. 次の状況で、スターターは不正スタートを指摘する：

- a) スタート姿勢をとる時意図的に遅い場合、  
⇒一方／両方
- b) 一方がマークから出た場合、⇒違反を犯した競技者だけ
- c) 発砲前でも、「Ready」の号令後にスタート姿勢を離れる場合に

## 16) チームパシュートレース (R261-1)

a) チームのフィニッシュタイム（規則第260条参照）は、**チームの第3番目のスケーター**のフィニッシュタイムで決定。  
レースをフィニッシュしたスケーターが**3名に満たない場合**、  
そのチームはレースを完了しなかった、**失格**。

b) 2チームは**ストレートの中央**で、トラックの各サイドで、**同時にスタート**。  
通常は抽選による。

チームランキングでヒート構成

⇒ 最上位チームがフィニッシュ側ストレートでスタート。

**\*各スタートラインに、リコールスターターを配置**

c) 競技するチームの各スケーターはレースで異なる認識票を着用する：  
ISU規則第279条を適用する。

f) チームのスケーターNo.1は白、No.2は赤、No.3は黄、No.4は青

## 17) マススタートレース (R253-4b)

ii) スタートはフィニッシュ側ストレートの中央（標準トラックの1000mフィニッシュラインで）で実施。競技者は列で、**各列最大スケーター6名、列間1m**でスタート。

- スケーターのスタート位置は抽選により又は競技者のシーディングにより決定。

- すべての競技者がスタートラインの後方に並んだ時、スターターは「ready」の号令をかけ、スタートガンを発砲する。

- 発砲前に前方に動いたり、彼らのスタート列から動くスケーターは **失格**となる。

## 17) マススタートレース (R253-4b)

iii) スケーティングの最初の周回中、一集団の中でよりよい位置を得るために加速することは許されない。この規則の違反は失格を生じる。最初の周回中にスケーターの大部分を巻き込む転倒が起きた場合、レースはスターターからのホイッスル又は発砲により中断され、直後に再スタートが続くものとする。

1周が完了すると明らかな音信号（例えば、スタートガンからの発砲）がある。この瞬間から競技者はよりよい位置を得るために加速することは許される。

ix) スケーターは、競技会にそう明記されていれば、計時計測を支援するための付属品と同様に、特別な安全用具（規則第223、279条も参照）、ヘルメットカバー、アームバンド又はビブスを着用しなければならない。これらの要求に応じない競技者は **失格**となるか 又はレースにスタートすることを**拒絶**されることになる。

## 17) マススタートレース (R253-4b)

・スポーツマンらしからぬ行為は失格の対象となる。レフリーにより妨害を受けたスケーターは救済措置を受ける場合もある。(準決勝の場合)

➤女子16周、男子16周

➤スタート：1000mF (1列6人)、フィニッシュ：500mF

➤1周目は1グループで滑走、発砲/ベルの合図で

➤先頭に1周追い抜かれたらレースから離れる

➤中間得点：3回、4/8/12周、上位3位に (3-2-1点)

➤最終得点：フィニッシュで上位6位に (60-40-20-10-6-3点)

➤レース結果はポイント合計で、フィニッシュ順で

➤WCポイントが与えられる

➤R253-4b)を適用

➤安全対策：ヘルメット、脛当て、手袋、ネックプロテクション着用、ブレード前後端半径1cm内に

## 17) マススタートレース (R253-4b)

- 女子10周、男子10周
- スタート：1000mF (1列6人)、フィニッシュ：500mF
- 1周目は1グループで滑走、発砲/ベルの合図で
- 先頭に1周追い抜かれたらレースから離れる
- 中間得点：4, 7周後に、上位3位に (3-2-1点)
- 最終得点：フィニッシュで、上位6位に (30-20-10-4-2-1点)
- レース結果はポイント合計で、フィニッシュ順で
- JWCポイントが与えられる
- R253-4b)を適用
- 安全対策：ヘルメット、脛当て、手袋、ネックプロテクション着用、  
ブレード前後端半径1cm内に

## 18) チームスプリントレース (R261-3)

- a) レースは1チームが単独でレースするか 又は2チームが同時にレースする、滑走してもよい。スタートの準備は1000mフィニッシュラインで、2チームがレースする時は他チームに関しては交差ストレートの反対の位置で、スタートしフィニッシュすることで、チームパシュートと同じ。
- b) スタート手順はチームパシュートと同じである。失格に関してはISU規則第261条4項を参照、再スタートの許可に関してはISU規則第262条2項を参照。
- c) 競技するチームの各スケーターはレースで彼らの役割を明確に示す異なる認識票を着用する： ISU規則第279条を適用する。  
チームのスケーターNo.1は白、No.2は赤、No.3は黄、No.4は青

# ISU Communication #2195

## SAFETY MEASURES (1)

- トラック境界表示：ウォームアップレーンを含む  
安全上トラック表示を置いても良い
- 用具：
  - トランスポンダー必須、
  - ヘルメットカバー
  - アームバンド：  
ワールドカップ、ISU選手権、YOGー  
ジュニアワールドカップー  
#1-白、#2-赤、#3-黄、#4-青
- スタートライン：インレーン+アウトレーン

# ISU Communication #2195

## SAFETY MEASURES (2)

### 安全用具の義務化：

#### － 着用必須：

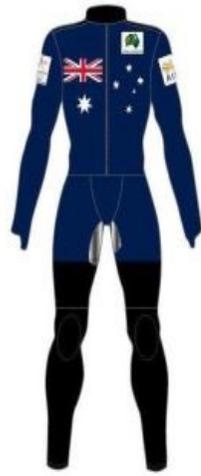
- ・ ヘルメット-ショートトラックR291-1a)
- ・ カットレジスタントスーツ/下着-#1265
- ・ 膝-脛ガード（プラスチック/カットレジスタント素材）
- ・ カットレジスタント手袋/革製手袋
- ・ カットレジスタントネック・足首プロテクション

#### － ブレード：

- ・ ブレードの前端、後端丸くカット（半径1cmに）

MS,TP,TSは安全用具の規定がショートと同じになります。

Indicative design examples from racing suits currently used for Short Track Speed Skating:



Australia



Germany

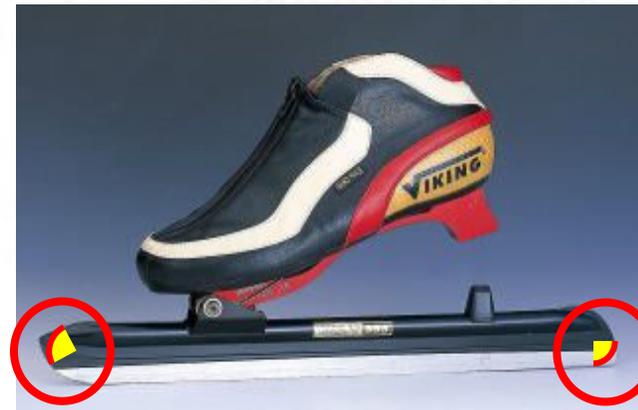


Japan



USA

# ブレードカット (マススタート・チームレース)



## 19) フィニッシュライン (R260)

1. 先行するスケートのブレード先端が フィニッシュラインに触れた／到着した時に、その距離が完了。
3. フィニッシュ直前で転倒し、先行するスケートが競技レーン外側に到達する場合：  
→ このスケートのブレード先端がフィニッシュラインの延長線上に到着した瞬間に計測。

### \*例外的な状況として失格の対象外 (R256-4)

4. 自動計時使用で、スケート以外の手段により止めた場合、公式タイムは（規則第250条7項により0.20秒を加算した）手動タイムと自動タイムのうち、遅い方のタイムを記録。

## レーンの交換 (R253)

a)

➤ インナーレーンを滑走する競技者は、  
(可動性のブロックで表示された) カーブの出口と  
(コーンで表示された) 次のカーブの始まりとの間のス  
トレートとして定義された、交差ストレートでアウターレーン  
に代わる。

➤ アウトレーンを滑走する競技者については その逆にする  
(例外については下記b) 項参照)。

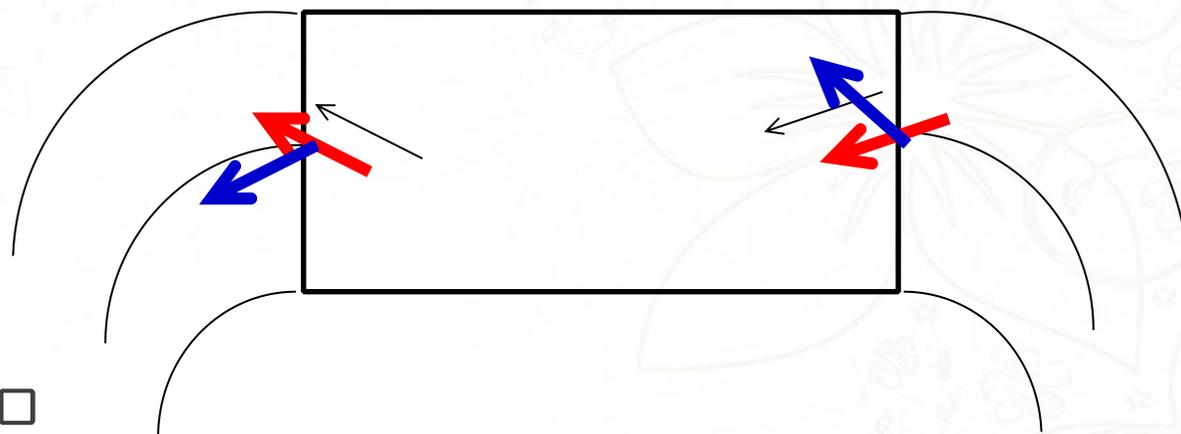
この規則の違反は、失格に至るものとする。

b) 400m標準トラックでの1000mと1500mの最初の直線でレー  
ンの交換はない。

# レーンの交換 (R253)

## □ カーブ出口

- 左の内側ブロックは、他人のレーン、
- 右の外側ブロックは、自分のレーン
- 自分のレーンのブロック、コーンを移動しても



## □ カーブ入口

- 左の内側コーンは、他人のレーン、
- 右の外側コーンは自分のレーン
- 他人のレーンのブロック、コーンを移動すると

## 21) 指定された競技レーン内の維持 (R256-1)

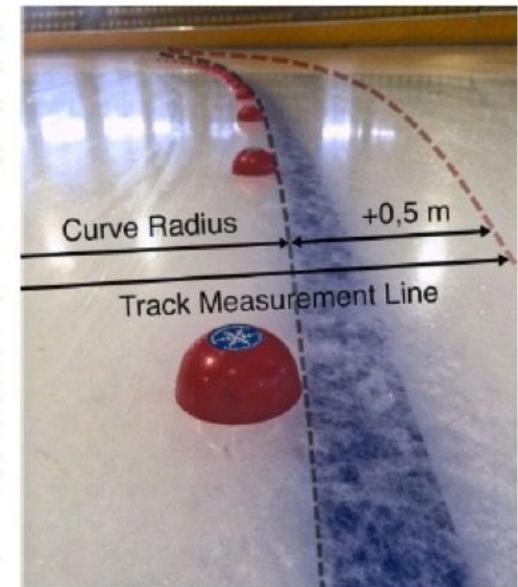
カーブで、フィニッシュ側ストレートで、競技者は指定された競技レーン内に保つ。

指定された競技レーン内を完全に滑走する競技者が他の競技者により妨害された場合、犯した競技者は失格になる。

## 22) カーブにおける内側ラインの横断 (256-2)

カーブに入る時、カーブで、カーブを出る時、競技者は完全に着色された5cm幅ラインにより表示され、雪又は着色ラインの内側に置かれた、最大高さ5cmの可動性のブロックによりマークされた、**競技レーンの内側ラインを切ること**は禁じられている。

この規則の違反は、競技者が**失格**となる結果になる。



## 23) 指定された競技レーンのラインの横断 (R256-3)

競技者が、指定された競技レーンの外を滑走し、そのため他のレーン又はウォームアップレーンに全部のスケートを置いて完全にラインを横切った場合、たとえ他の競技者を妨害していなくてもその競技者は失格となる。

レース中にそのような違反が2回以上監察の確認があった場合、その競技者は下記4項に記載された状況を例外として、失格となる。

(\*4-a膨らみ、4-b転倒、4-c追越し時の状況)

## 24) 例外的な状況 (R256-4)

以下の状況は、上記3項に従って失格には至らない：

- a) 競技者がカーブで又はフィニッシュ側ストレートに向かってカーブを出る時インレーン内に保つことができず、  
そのためアウトレーンにラインを横切ってしまう場面で、直ぐにインレーンに戻る場合 競技者は失格にならない。

カーブを出る時、インレーンへの戻りは、いかなる場合も標準400mトラックの1000mフィニッシュラインより前で行われなければならない。

## 24) 例外的な状況 (R256-4)

b) 転倒又は他の突発的理由により、競技者が指定された競技レーンを離脱する場合、指定されたレーンに直接戻れば、競技者は失格にならない。

規則第260条3項参照。

c) 同一レーンを滑走している他の競技者を追い越した場合、距離短縮ではなく、違反を避けるため、レーンの他の境界ラインを横切って追い越している場合、  
追い越しているスケーターは失格にならない。

規則第257条2項参照。

## 25) 衝突の場合の責任と追越し時の責任、衝突の場合の責任 (R257-1)

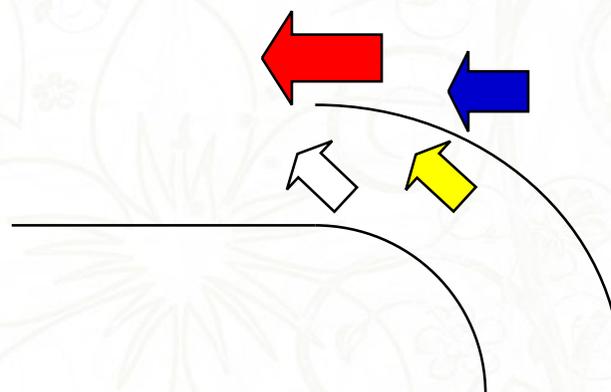
カーブで、交差ストレートの始まりであるカーブ出口で、カーブを出る時、

- **インレーンからアウトレーンに交差する競技者は、**アウトレーンからインレーンに交差する競技者を妨害してはならない。
- **たとえカルテットにおける他組からの競技者であっても、適用する。**
- **他の競技者が妨害手段をとっていない場合、衝突の責任はインレーンを離れる競技者にある。**

# カルテットにおける追越し時の交差

A：先発の2人が接近、  
後発の2人も接近して追隨  
責任割合は

赤 < 白      青 < 黄



B：先発の2人が接近、  
後発の2人も接近して前に接近、追越し  
責任割合は

赤、青、(黄) < 白      赤、青、(白) < 黄      赤 > 青

## 26) 衝突の場合の責任と追越し時の責任 (R257-2)

**同一レーンでの追越し:** 他の競技者を追い越そうとする状況下、**両方の競技者に** 円滑な方法で追越しが行われること、かつ衝突が避けられることに**責任がある。**

a) 追越しの状況が迫っている時、

**前の競技者は、そのレーンで自身のライン(相対的な位置)を保つ。**

競技者が追越しを容易にするために **レーン外側部分に移動している場合、その競技者は追い越している競技者が内側を通り過ぎるまでレーン外側部分に留まる。**

b) **追い越している競技者は、状況がよく見えており、**

**前の競技者がそのレーンで自身の相対的位置を維持する限り、**

**衝突が避けられることに責任がある。 \*例外R256-4**

3. レフェリーがこの規則違反(1と2)を確認

→ 違反している競技者は**失格**

## 27) 公式プロトコール (R273-1d)

- DNF スタートしたがフィニッシュしなかった  
(レース規則違反なし、妨害受けて)
- DQ (レース規則の違反により)失格となった
- DNS (スタートリストにあったが)スタートしなかった
- WDR (スタートリストにあったが)棄権した  
(その結果、組が再調整された)
- RS (再レースが許されて)再滑走した
- MT 手動計時手順によるタイム

\* 失格には備考欄にその理由も記入する： DQ (R257-1)

# 主な失格内容 (R216-3b)

◆R223	用具規則の違反	1;レーシングスーツ、2;スケート	
◆ <u>R279</u>	<u>用具規則の違反</u>	<u>1;コミュニケーション装置、</u> <u>2;音楽装置、3;計時計測装置、</u> <u>4;アームバンド</u>	
◆R255-1	正しいアームバンド着用とスタートレーン		除外
◆R255-5	2回目の不正スタート		MS
◆R253-3a	レーンの交換		MS
◆R256-1	指定競技レーンの維持、相手レーンでの妨害		MS
◆R256-2	カーブでの内側ラインのカット、		Team MS
◆R256-3	指定競技レーンのラインクロス、2回監察		Team MS

## 主な失格内容（R216-3b）

- ◆R257-1/3 衝突の責任、 Team・QS MS
- ◆R257-2/3 追越し時の責任（同一レーンでの追越し）、  
Team・QS MS
- ◆R258-1/2 追越し後の競技者間の距離、 Team MS
- ◆R259 ペース作り Team, MS
- ◆R260-2 フィニッシュラインでのキッキングアウト  
Team, MS
- ◆R261-1 (TP) 3名未満によるレース未完了
- ◆R253-4b (MS) 転倒を引き起こすような妨害行為

## 28) 年齢制限 (R108)

シニア競技会に出場するにはシーズンの7月1日までに15歳になっていなければならない。

ジュニアは競技会の前の7月1日までに19歳になっていないものである。

ジュニアのカテゴリー

A 17 and 18

B 15 and 16

C 13 and 14

D 12 and under

世界ジュニア選手権には7月1日までに14歳になっていなければならない。

## 29) 抗議 (R123)

1. 抗議は文書で、一定時間以内にレフェリーに提出  
同時に、100 スイスフラン／同等価値の通貨を供託

2. 抗議提出者：

- a) 競技会参加の競技者／ID取得したチームリーダー
- b) 競技者、コーチ、チームリーダーの同意を得て、競技会組織委員会委員／所属加盟メンバーの代表者

3. 抗議の時間制限

- |              |               |
|--------------|---------------|
| a) 競技者参加     | 競技開始前         |
| b) 競技役員構成    | 発表後30分以内      |
| c) 下記d)以外の抗議 | 当該競技終了後30分以内  |
| d) 不正確な算術計算  | 当該競技終了後24時間以内 |

## 29) 抗議 (R123)

競技終了：

スピードスケート	各距離全レースの最終レースの終り
ショートトラック	各距離最終ヒート/資格取得ラウンドの 終わり/最終組、決勝の終り

### 4. 抗議の制限

#### B. スピードスケート

○不正確な算術計算の場合のみ容認

×(第253-262条の)失格、レース規則違反に対する  
失格の有無に関するレフェリー、スターターの判定

## 29) 抗議 (R123)

### 5. レフェリーの裁定

- a) 文書で、できるだけ速やかに抗議を判定。  
抗議と判定のコピーはISU事務局に転送。
- b) 時間制限後/非受理の場合は、文書で却下。
- d) 自由裁量で、抗議に対する判定前に、公式ISUデジタルリプレイの再生を見ることができる。  
但し、上記4項で制限除外された抗議には適用しない。
- e) 抗議に対するレフェリーの判定は最終のもの。第124条以外に上訴できない。
- f) 自由裁量で、抗議、判定を公式に発表できる。  
当該競技終了前/終了後30分以内

## 競技トラックの安全の確認及び競技進行

### (1) 競技開始10分前

- テストペアの滑走：タイミング最終チェック

### (2) 競技開始5分前

- ◆ アナウンサー： 「競技開始5分前」、（組合せの紹介）

### (3) トラック安全の報告

- ◆ トラックジャッジ： トラック上の安全報告、旗又は無線等。
- ブロックの設置（ラインに内接、コーン）、氷の乾燥
- 各自の受け持ち区域のレーン状況を確認
- スケートターの滑走に支障がないことを報告。
- ◆ トラックに支障がある場合、
- 速やかに復旧の所要時間をレフェリーに連絡。  
（予定どおり開始できない場合はできるだけ早く連絡。）
- 支障が取り除かれ次第その旨も報告。

## 競技トラックの安全の確認及び競技進行

◆レフェリー（アシスタントレフェリー）：準備完了の確認（自動計時システム、タイムキーパー並びにフィニッシュラインジャッジ）

(4) 競技開始2分前                      レフェリー

◆アナウンサー：「競技開始2分前」

◆アシスタントスターター：1組のスケーターにスタート準備を促す。

(5) 競技開始1分前                      レフェリー

➤スターター、アナウンサー、アシスタントスターター（召集員）にサインにより スタートの準備を促す。

(6) スケーターの紹介

◆アナウンサー： 「スケーターの紹介」その際、スタートの準備完了を示すランプの併用が望ましい。

## 競技トラックの安全の確認及び競技進行

(7) スタート手順、レース中

- ◆スターター：「スタート手順」 その際、自動計時システムからの準備完了サインがある場合に注意。
- ◆トラックジャッジ：ラインカットや、追越しの確認
- ◆交差コントロール：間違いなく交差しているか確認
- ◆回数算定：回数の確認、ラスト1週の周知
- ◆アナウンサー：スタート後、レース中のタイム紹介  
できるだけレース中に次組のスケーター名を呼  
上げ、スタートの準備を促す。

## 競技トラックの安全の確認及び競技進行

(8) 各レース終了後

◆アナウンサー：新記録等を確認、「リザルト速報」を発表  
その際、サウンドを流して発表することが望ましい。

➤通告開始時間の計測による次組の紹介  
(タイムテーブルの厳守)

◆トラックジャッジ：受け持ち区域のレーン状況を確認。

◆タイムキーパー：タイムの確認・修正、時計（AT,MTのリ  
セット）次の組へ機械等リセット、準備ができたならランプ点灯

◆フィニッシュラインジャッジ：先着の確認、キッキングアウト  
トなど確認